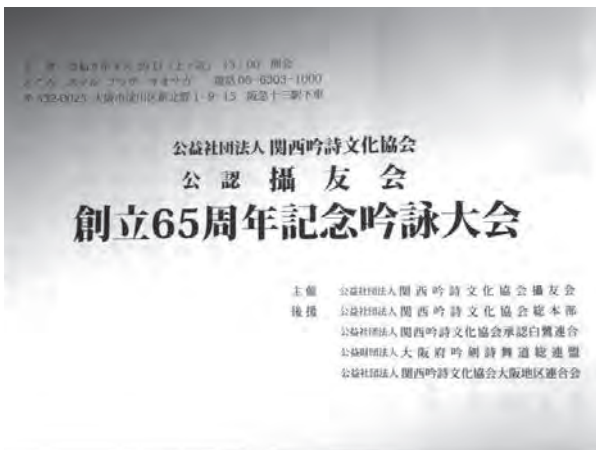


公認・攝友会 創立65周年記念記念吟詠大会 開催される☆

和気藹々とした中に、詩吟仲間達との懐かし
くも新しい「縁を紡ぐ」ことができ、楽しい
気持ちで二次会へ☆ 英気を養うことができ
ました。攝友会の皆様、どうもありがとうございました。
(報告者 塩路澄誠)



※攝友会 65周年大会の画像は、右のQRコード
をQRコードリーダーで読み取りジャンプしてご覧
ください。



公認岳豊会創立20周年記念吟詩大会開催される


令和5年11月19日（日）正午から、兵庫県豊岡市のアイティ7階・「豊岡市民プラザ」で、「公益社団法人関西吟詩文化協会公認岳豊会創立20周年記念吟詩大会」が「繫」のテーマのもとに盛大に開催しました。

記念大会には、公益社団法人関西吟詩文化協会総本部会長の古田哲壮先生をはじめ、白鷺連合会会長の大取鷺照先生をお迎えし、記念式典を開催しました。その後、会員吟詠・講師吟詠・来賓吟詠を行い、最後の祝賀会では各支部から自慢の演芸が披露され、盛会の内に記念大会を無事に終了することができました。

公認岳豊会は、昭和39年に故森田鷺豊先生が、兵庫県北部の但馬豊岡に初めて関西吟詩の詩吟教室を設置され、爾来、59年間の長きにわたり吟詠の普及活動を続けていますが、平成15年に「岳豊会（松尾岳豊会長）」が誕生し、本年度で満20年を迎えました。これを機会に会員一同更に研鑽努力を重ね、吟詠の発展に努めて参りたいと考えています。

岳豊会理事長 岸 岳月



※ QRコードから
白鷺HPへ 
たくさんの画像が
楽しめます。



シリーズ 教室探訪コーナー

青誠会 大阪中央支部（敷津分会）

2024年1月17日(水)青誠会大阪中央支部（敷津分会）に訪問させて頂きました。地下鉄御堂筋線大国町駅に15：30広報部2名集合、副支部長（講師）上田青苾先生自らにお出迎え頂き、駅から歩いて6～7分の教場、敷津連合会・老人憩の家にご案内頂きました。いくらでも大きな声を出せそうな広いお部屋でした。



この大阪中央支部（敷津分会）は敷津教室として加納誠旺青誠会会長と現副支部長の上田先生のお父様が平成元年に立ち上げられた「敷津分会」と平成28年に上田先生が立ち上げられた「かもめ分会」が合体された教室とのことで、教場歴は通算35年という由緒のある教場でした。生徒さんは71歳から92歳までの男性3名女性3名の6名。吟歴は2年弱の方から25年以上の方まで様々。始めに集合写真を写させて頂き、いつもと同じように練習をして頂きました。

16：00開始、まずは巻頭言から、男性香川さんが高音の良いお声で先導。続いて青誠会会歌を吟歴25年以上の上善さん先導で全員しっかり唱和。今日の練習吟1題目は「登鶴鶴樓・王之渾」、まずは素読2回、詩の字解、意解、作者の説明。続いて一節ずつ先生について復唱、そのあと1人ずつ独吟。すぐ隣にいてコンダクターをひき指導するなど心配りのある指導でした。男女に分れて合吟し1題目終了。練習吟2題目は「遊嵐山・頼山陽」1題目と同じように素読から、個人の独吟まで進みました。

細かいことは言わず、「22番は跳ねますね」などポイントだけ、それぞれ歌いたいように吟じる。「はい、良かったですよ」との先生の声

にニコリ。きびきびととても動きの良い8本の女性大西さんをはじめ2年目の辻さんもしっかりと声を出しておられました。



辻さんは上善さんのお誘いにより入会、ご近所さんのつながりは大切です。男性村井さんの良いお声は民謡もされているからだそうです。最高齢の江村さんも資料をきっちりとファイルされやる気満々、しっかりと吟じておられました。練習吟はその年の昇格、昇段の課題吟を選んでいるとの事、先生のしっかりしたお声は男性を教えるようになってから太い声も出るようになったそうです。



皆さんの笑顔と和やかな雰囲気ของ素晴らしい教室は先生のご指導と熱心な生徒さんにより長い歴史の上に作られてきているのだと感じました。

今年白鷺の競吟に出吟される方は2名、最近競吟に出られる方が減っている中、2名も出吟されることは素晴らしいと思いました。新年会で丹波篠山に行くことを、とても楽しみにされています。益々お元気に、ずっと上田先生と一緒に詩吟を続けてください。

皆様にパワーを頂きました。有難うございました。

訪問：広報部天田澄慈、福永洋恵(記)

史跡探訪の旅



やっぱり凄かった 湊川神社

昨年初冬に「湊川神社」を訪ねました。
聖地の懐に入る緊張感を抱きながら訪ねました。神戸市中央区にあり、阪急神戸線・高速神戸駅下車 東改札を出て、右手の階段を上ると神社正面でした。

詩吟を知って漢詩を習い先輩先生方の朗詠で「詠楠公」「大楠公」と耳にしていましたが、無学の私は感動の一時で、湊川神社の神官さんより説明頂けたご縁に感謝しました。



楠木正成公は後醍醐天皇に仕え42才で無念の死をこの湊川で弟正季と共に自刃されたのですが、その後300年間忘れ去られていました。豊臣秀吉が「太閤検地」として1582年から1598年まで全国の土地を調べたことで、この地が正成最後の場所と片桐且元により確認され、秀吉公はその地を「免祖地」とされました。「免祖地」とは、その土地の税金を免除されること。太閤検地の目的は土地の権利や土地の生産力、つまり年貢の納入経路が明確にして無駄なく徴税するためでしたが、この地を見つけた片桐且元氏の功績は大きいと思いました。今もこれから先も変わらず、手つかずの森で「玉垣」に囲まれた24坪が静かに祀られる。

太閤秀吉公の決断は素晴らしいと思いました。



普段は鍵がかけられ聖地として静かに600年以前から何も変わらず今も時を刻んでいます。感動しました。

古詩その一（P45）「嗚呼忠臣楠子之墓」20句の長詩編を読み返し、楠木正成公の忠誠心は今も心を動かされ、11句目「七生人間殺國賊」凄い。

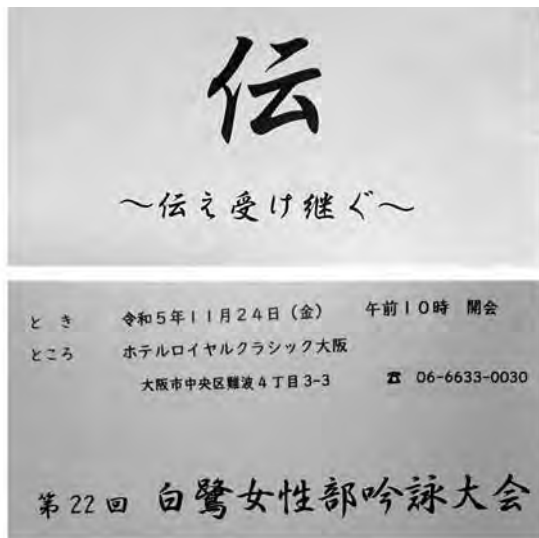
よく目にする「嗚呼忠臣楠子之墓」の字は誰でも知っている水戸光圀公・水戸黄門さんの直筆と知り、また驚きました。そして正成公のお墓は大きな亀の背中に乗っていました。亀は古来より死後の魂を霊峰（崑崙山）に運んでくれる聖なる生き物とされていると、中国では語り継がれている所以で建立されたようです。この墓石建立の責任者があの水戸黄門漫遊記でお馴染みの助さんこと佐々介三郎とされています。助さんも「大日本史」の編纂に大きく貢献されその後光圀公に仕えられた。広い境内では白衣の神官の皆さんが落ち葉をかき集め清められている光景も清々しかったです。

沢山の発見があり、また足を運びたいと思いました。

広報部 天田澄慈

第22回白鷺女性部吟詠大会を終えて

令和5年11月24日（金）ホテルロイヤルクラシック大阪に於きまして、4年ぶりとなる女性部大会を開催させて頂きました。会員の皆様、ご来賓の先生方と合わせて152名のご参加を頂き、無事に終えることができましたことをご報告申し上げます。



思い起こせば、会場のホテル予約をしてから開催まで1年半が経過しておりました。新型コロナウイルス感染症によって、突然奪われてしまう命を目の当たりにし、今こそ伝統のある女性部をしっかりと「伝え受け継いで」の願いを込めましてテーマを「伝」といたしました。



大会委員長挨拶
井上容声白鷺女性部部长

わが鷺声吟詠会の中でも、白鷺連合会初代会長が塩谷鷺声先生であったことを今回初めて知ったとお話があり、伝えることの大切さを改めて感じた瞬間でもありました。

コロナが5類となり、少しずつ日常生活が戻り始めたかと思っている間に、世の中の情勢が大きく変わり、物価高騰の波にも吞まれ心配しておりました。しかし、皆々様の温かいご支援を頂き、女性部大会本番を迎えることができました。

朝10時から式典、そして心温まるご挨拶に続き、会員吟詠20組、歴代役員吟詠からは、尺八奏者の清水佑海先生の尺八伴奏で流れる様にご来賓吟詠まで続きました。



休憩を取らず、清水先生の生伴奏は構成吟「石童丸」へと連なり、花を添えていただきました。出演者16名。落ち着いたナレーション、和讃語

りから入り、「石童丸」24句詩、二行ずつの連吟で繋ぎ、和歌、今様、覗きからくりと盛りだくさんの趣向の舞台となりました。また、青年部の安田行軌先生の卓越した映像と音響の技術で、会場備え付けプロジェクター6台に映し出された読み下し詩文、「石童丸」の物語進行に合わせた映像の数々。



文明の力に高い評価を頂くことができました。ご参加頂いた皆様からの嬉しい、ありがたいお言葉に今もなお喜びを噛みしめております。

今大会のために役員、幹事の先生は元より、CD伴奏の制作、写真、動画の撮影などと、陰になり日向になって応援して頂きました先生方に心より感謝申し上げます。



※右のQRコードをQRリーダーで写し、画像アルバムへ進み女性部大会の全貌をご覧ください。



時間調整も上手くいき、美味しい食事、余興と順調に進み、予定通り15時で終宴となりました。

白鷺の伝承されてきた「和と奉仕の精神」は、これからも脈々と後世へ伝え受け継がれていくことを願ってやみません。女性部は「和やかで、心優しく、楽しく」を心に刻み、一丸となって邁進して参ります。末永くご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

白鷺女性部部长 井上 容声



白さぎ青年部第56回吟詠大会が開催されました



ミニ構成吟のテーマは藤原さんと和田さんのアイデアから「どうする若鷺」となり、大会全体を企画する上で、「どうする!？」と問いかけ合いながら作ることとなりました。

その一つの答えが、規模は小さくなり、また来年以降形は変わるとしても、青年部大会を開催し、そのために毎月の会議に顔を合わせることで、伝統の「飛び入り吟詠」を引き継ぎ楽しみながら吟を磨く会にすることかなと思います。



構成吟の原案を練る過程では、おそらくどうするマターは「人がいない」「時間がない」「お金がない」だろうと当たりをつけ、「人がいない」時代の青年部長、為貴さんにお話を伺いました。本家の「どうする家康」に倣いセリフで心理描写をしていく仕立ての原案を、白鷺青年部の脚本家、石本さんがバツサリとナレーション仕立ての台本にしてくださいました。

戦国時代にあって太平の世を築かんとする家康を描いた本家への参照の名残か、選んだ吟題は白居易「酒に対す」元田永孚「中庸」宮崎東明「偶感(其の二)」と争いを遠ざけることを説いたものが多くなりました。これはいまの世相における必然でした。



プログラムを当日製本するのはもはやお決まりになっていますが、プログラムにあれが足りないこれが足りないと言い、受付の準備にも不足があり、先生方先輩方にお手伝いいただく中であっという間に大会の開始時刻となりました。

中岡部長にはひとりご苦勞をおかけして本当に申し訳なかったと思います。

堀尾さんに素敵なお陣羽織を貸していただき、昨年同様司会席へ。開会のアナウンスの直前までコンダクターを司会で担当するなどのやりとりをし、どうにか、どうやら、大会の幕が開きました。

途中、確認できていなかったことが次々として出てきて、その度に腰の痛い平岡さんが走ってくださり、自分の至らなさに涙しそうになりながら、しかし平然と会を進行することがせめてもの役目と自分に言い聞かせました。

白鷺連合会副会長御祝辞での酒井先生の、「休んでもいい」という青年部の先輩としてのあたたかなご挨拶は心に沁みるものがありました。

コロナが5類になったこともあり、多くの友好青年部の方々にお越しいただき、迫力と情趣あふれる吟を戴きました。

構成吟の「どうする若鷺」は、堀尾さんがご用意くださった甲冑を着て中岡部長、堀尾さん、和田さんが、石本さんの簡単なト書を元にアドリブの演技を魅せてくださいました。

吟者は皆、これも堀尾さんがご用意くださった紙兜を各自組み立てて着け、ポップで一体感ある構成吟になりました。

吟題の選択のもう一つのこだわりは、若鷺の成長に従って春から秋へと緩やかに移行することでした。独吟の最後は中岡部長に宮崎東明「晩秋晴を弄す」をご担当いただき、(晩秋というには暑かったですが)吟の通り晴れがましく幕を引くことができました。

懇親会は、全体が段取り良く進めばやりたいということで、事前の準備が十分ではありませんでしたが、指揮をとってくださる青年部員、てきぱき動いてくださる青年部員、そして先生方のご協力あって開催することができました。即席のカラオケなどで盛り上がり、明るく和気藹々とした会になりました。



※QRコードをQRリーダーで写し取り、白鷺ホームページにジャンプして画像をお楽しみください。

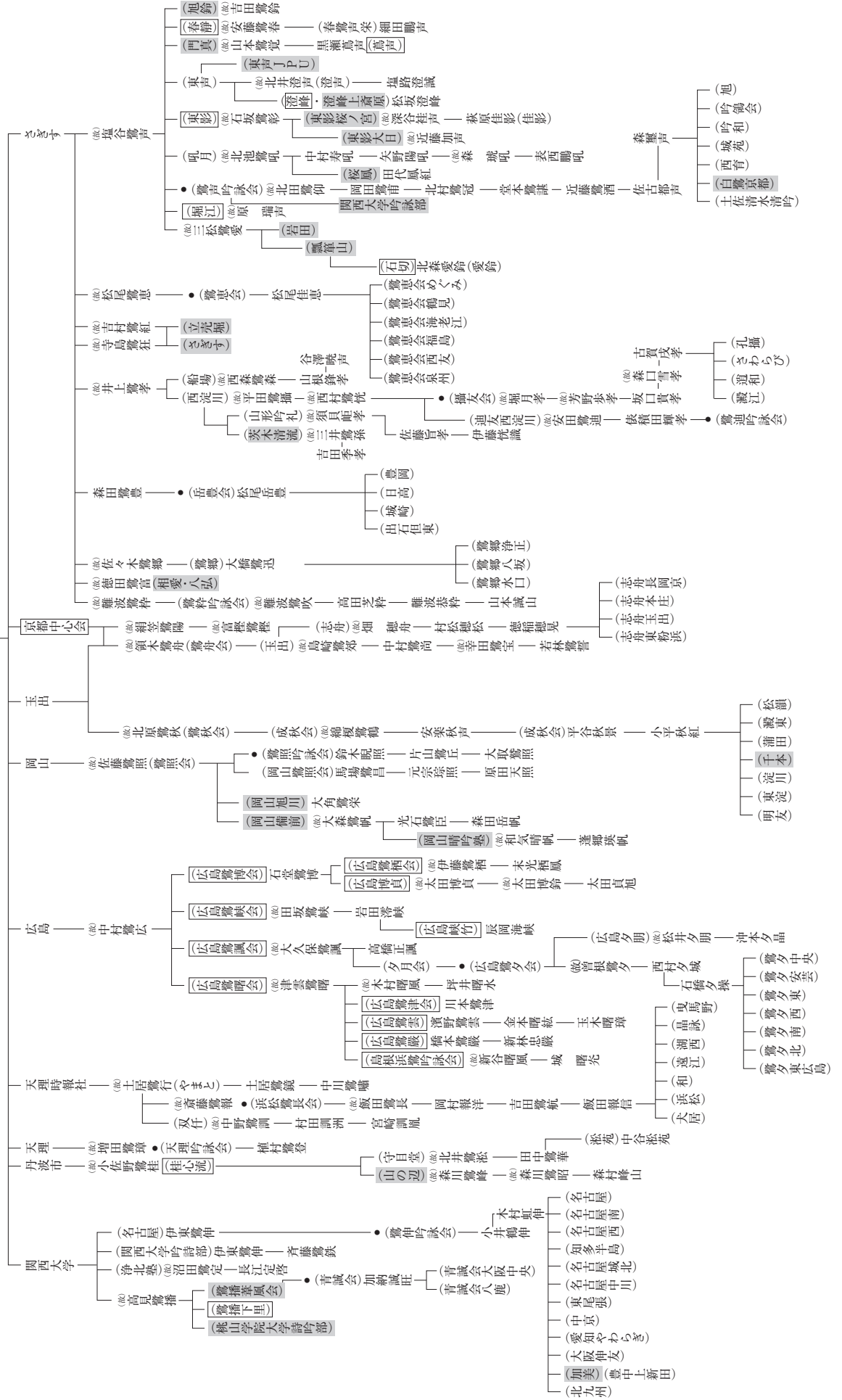
手記 青年部企画部員 藤山 澄玄

白鷺連合会組織系統一覽

(令和5年12月現在)

親 系

● 本部公認会
■ 消滅支部会
□ 親会支部会



編集後記

・コロナ禍で延期、中止を余儀なくされていた諸行事が復活です。令和5年の幕開けは、2月開催の「白鷺吟行会・浜松大会」でした。活気のある白鷺の絆が蘇りました。令和5年度に入って4月には「白鷺吟詠の集い競吟大会」が再開されました。実に4年ぶりです。気迫のこもった吟声が戻ってきました。

・関西吟詩全国指導者級吟士権者決定大会に於いて令和4年度・5年度と2年連続で白鷺から吟士権者が誕生しました。白鷺会員にとって大きな誇りであり希望です。皆さんも励みにして後に続き栄誉を勝ち取りましょう。

・今回も編集記事は、都度、白鷺HPで取り上げた内容を

復元させる形としました。スマホケイタイが普及する時代ですが、まだまだ高齢社会でデジタル化に立ち後れている方々にも情報を等しく提供するためです。紙面にあるQRコードを映像で取り込めば、関連HPへジャンプできるようにと道しるべの工夫をしました。どうぞ、お楽しみ下さい。

・白さぎも会員数が年々減少していく状況は打破できずにいますが、元気溍刺な活気ある活動を通して、詩吟仲間を増やすことに専念いたしましょう。情報の共有を図るための一役を担う広報部は、これからも工夫を絶やさず邁進したいと思えます。ご指導ご鞭撻宜しく願いいたします。

広報部・HP管理部 部長 塩路澄誠

(印刷所) 株 NPC コーポレーション 〒 530-0043 大阪市北区天満 1-9-19 TEL (06) 6351-7271 FAX (06) 6352-7479

令和6年度 白鷺連合会行事予定 事業企画部 2024.2.7

年・月・日	白鷺連合会	総本部	関連団体行事
4月	6 第63回白鷺吟詠の集い競吟大会 エーリック 20 常任理事会①17:30 海老江西C	5 正副会 20 正副会 理事会	7 財団 吟剣大阪東・北大大会 21 大阪府連一部二次 7会場 26 大阪地区常任理事総会 大東 全河内連合競吟大会・関吟のみ
5月	4 常任理事会②海老江西C 12:00 4 総会 // 14:00	11 元老・相談役・参与・正副会 18 正副会 理事会	3 律詩連吟・和歌競吟 理事総会 12 財団大阪 豊中 14詩游クラブ 19 大阪府連一部三次 26 愛連ジュニア・シニア尼崎
6月	8 常任理事会③17:30 海老江西C	1 定期総会 正副会 8 正副会 理事会 9 特別研修会兼推薦師範講習会 16 吟詠普及研修会(九州)昇格試験(地方)	ポリドール競吟大会 14 財団常任理事会 16 日本伝統文化競吟 23 大阪府連一部決勝 高槻現代
7月		6 正副会 14 昇格試験(師範・準師範・師範代)	9 詩游クラブ 14 大阪府連二部決勝 高槻 21 愛連ジュニアシニア決勝
8月	4 第1回青年部&交流会(仮称)ホテルプラザ 10 常任理事会④17:30 海老江西C	3 正副会 18 吟詠普及研修会(岡山) 10 正副会 理事会	18 関吟府連一部予選 大東市民 25 関吟府連二部予選 大東市民
9月		7 正副会 8 東明碑前祭・本部研修会(新教本研修) 28 東明未来塾(本部コース)①	15 第79回愛連一部吟士権 17 詩游クラブ 23 実業団大会
10月	未 第64回白鷺競吟実行委②案内状発送 12 常任理事会⑤17:30 海老江西C	5 正副会 9~11国内移動教室 12 正副会 理事会 14青年部大会 20 全国吟詠大会近畿地区大会(IN大阪)	6 愛連二部吟士権 日総連全国決勝 アルカイック 13 プラチナ大会 此花
11月	未 第64回白鷺競吟実行委①案内状作成 未 第64回白鷺競吟実行委②案内状発送	2 正副会 10 全国新人中間層競吟 17 本部研修会(師範・準師範・師範代昇格課題詩) 30 東明未来塾(本部コース)②	4 関吟府連一・二部決勝 12 詩游クラブ 財団全国決勝
12月	14 常任理事会⑥17:30 海老江西C	7 正副会 元老相談役会議 8 全国師範代・準師範・指導者級吟士権 14 正副会 理事会	15 少壮チャリティ 日総連近畿地区吟詠大会
2025 R7・1月	12 常任理事会⑦12:00プラザオーサカ 12 新年互礼会 14:00 未 第64回白鷺競吟実行委④プロ編成 1	11 正副会 13 AM 元老・相談役・参与・代議員会議 13 PM 新春吟詠大会 都ホテル・尼崎 25 東明未来塾(本部コース)③	5 西日本互礼会 14 詩游クラブ 少壮コンクール近畿
2月	未 第64回白鷺競吟実行委④プロ校正 2 未 第64回白鷺競吟実行委⑤プロ校正最終	1 ~2 吟道大学講座 8 正副会 9吟詠普及研修会(京滋福) 16 吟詠普及東海地区大会	飛翔コンクール 富田林 全国吟剣コンクール決勝 哲友会吟詠コンクール
3月	未 第64回白鷺競吟実行委⑥プロ発送 第64回白鷺競吟実行委⑦備品点検 15 常任理事会⑧17:30 海老江西C	1 正副会 15 正副会 理事会 23 東明未来塾(R5本部コース・卒業式)④ 30 ~31 本部棚卸	11 詩游クラブ 2 愛連吟詠フェスティバル 全国少壮決勝 大阪府連一部一次予選① 大阪府連一部一次予選②
第64回白さぎ吟詠の集い競吟大会 令和7年4月5日(土)開催予定 会場 エーリック			